

富山県知事 新田八郎 殿

富山県富山市舟橋北町4番19号
公益社団法人富山県農林水産公社

理事長 佐藤 一 絵

事務所の所在地 富山県富山市舟橋北町4番19号

令和6年度農地中間管理事業実施報告書の提出について

農地中間管理事業の推進に関する法律（平成25年法律第101号）第9条第4項の規定により、令和6年度の実施報告書を下記のとおり提出します。

記

- 1 令和6年度農地中間管理事業実施報告書
別添のとおり
- 2 農地中間管理事業評価委員会の評価等
 - ・開催日時 令和7年6月11日（水）14時～15時
 - ・参加委員 5名（全委員出席）
 - ・委員会の評価 概ね良好に実施されている。
（評価の概要は、別紙のとおり）
 - ・その他 評価委員会における意見等に配慮しながら、事業のより一層の充実に努めてまいります。

事業報告書（報告様式）

1 借受・転貸状況

(1) 令和6年度の借受・転貸面積

| | 3月末までに権利発生したもの(※2) |
|--------------|--------------------|
| 借受面積 | 3,803 ha |
| 転貸面積(※1) | 3,899 ha |
| うち新規集積面積(※1) | 309 ha |

※1: 「転貸面積」、「うち新規集積面積」には、過年度に機構が借り入れて、当年度に転貸したものを含む。
「うち新規集積面積」には、特定農作業受託により既に担い手が農作業を行っていた農地は含まれない。

※2: 過年度に農用地利用集積計画を公告し、令和4年度に権利発生したものと及び過年度に農用地利用配分計画を認可公告し、当年度に権利発生したものを含む。

(2) 累計（令和7年3月末時点）

| 区 分 | 累計（ストック） |
|----------------------------|-----------|
| 借受面積(①) | 14,208 ha |
| うち転貸面積(②) | 14,198 ha |
| うち新規集積面積 | 4,832 ha |
| うち機構が管理している面積 | 0 ha |
| うち作業委託で管理している面積 | 0 ha |
| うち条件整備中の面積 | 0 ha |
| うち新規就農者等へ転貸するために確保した面積(※1) | 0 ha |
| 転貸率②/① | 99.9 % |

※令和6年度末までに権利発生したものを記載すること。

※1: 新規就農者、新規参入者等へ転貸する目的であらかじめ中間保有している全面積を記載すること。

(3) 遊休農地の借受・転貸面積（令和6年度）

| 区 分 | 3月末までに権利発生したもの(※2) | うち農地バンク自ら |
|----------|--------------------|------------|
| | | 解消した面積(※3) |
| 借受面積(※1) | 3 ha | 3 ha |
| 転貸面積(※1) | 2 ha | 2 ha |

※1 上記(1)の※1と同じ。

※2 上記(1)の※2と同じ。

※3 「農地バンク自ら」には、委託して解消した面積を含む。

(4) 累計（令和6年度末の遊休農地の借受・転貸面積）

| 区 分 | 3月末までに権利発生したもの(※2) | うち農地バンク自ら |
|------|--------------------|------------|
| | | 解消した面積(※3) |
| 借受面積 | 4 ha | 4 ha |
| 転貸面積 | 4 ha | 4 ha |

2 転貸先の状況（令和6年度事業分）

| 転貸先 | 経営体数 | 転貸面積 |
|-----------------------|------|------------|
| (1) 地域内の農業者 | 654 | 3,877.8 ha |
| うち個人 | 351 | 543.4 ha |
| ①担い手 | 216 | 476.7 ha |
| ア. 認定農業者 | 175 | 426.5 ha |
| イ. 認定新規就農者 | 29 | 40.3 ha |
| ウ. 基本構想水準到達者 | 12 | 9.9 ha |
| ②担い手以外 | 135 | 66.7 ha |
| うち法人 | 303 | 3,334.4 ha |
| ①担い手 | 298 | 3,312.3 ha |
| ア. 認定農業者 | 295 | 3,287.0 ha |
| A. うち企業 | 113 | 812.8 ha |
| うち農外から参入した企業 | | |
| イ. 認定新規就農者 | 3 | 25.3 ha |
| ウ. 基本構想水準到達者 | | ha |
| ②担い手以外 | 5 | 22.1 ha |
| うち認定農業者等以外の農外から参入した企業 | | |
| うち企業 | | |
| うち農外から参入した企業 | | |
| (2) 地域外からの参入者 | 19 | 21.4 ha |
| うち個人 | 4 | 0.7 ha |
| ①担い手 | 4 | 0.7 ha |
| ア. 認定農業者 | 4 | 0.7 ha |
| イ. 認定新規就農者 | | |
| ウ. 基本構想水準到達者 | | |
| ②担い手以外 | | |
| うち法人 | 15 | 20.7 ha |
| ①担い手 | 15 | 20.7 ha |
| ア. 認定農業者 | 15 | 20.7 ha |
| A. うち企業 | 8 | 10.5 ha |
| うち農外から参入した企業 | | |
| イ. 認定新規就農者 | | |
| ウ. 基本構想水準到達者 | | |
| ②担い手以外 | | |
| うち認定農業者等以外の農外から参入した企業 | | |
| うち企業 | | |
| うち農外から参入した企業 | | |
| (1) + (2) の合計※3 | 656 | 3,899.2 ha |

※1：担い手の範囲には集落営農経営も含めるが、転貸先とはならないため、本表では不掲載。

※2：各経営体数の欄は、複数地域で農地の転貸を受け、各地域で計上されて重複している経営体であっても、1つの経営体としてカウントすること。

※3：複数地域で転貸を受けたことによる重複を除いた数を記載すること。（延べ数ではない）

3 担い手への集積の状況

| 区 分 | 機構設立前 | 最新時点 |
|--------------|-----------|-----------|
| 全耕地面積(※1) ① | 59,100 ha | 57,400 ha |
| 担い手の利用面積 ② | 29,989 ha | 40,730 ha |
| 担い手への集積率 ②/① | 50.7 % | 71.0 % |

※ 農林水産統計の各都道府県の「耕地面積」を用いること。

4 市町村別（又は地域別）の借受・転貸状況及び担い手への集積の状況

(面積単位：ha)

| 市町村 | 機 構 借受面積 (ストック) ① | 機 構 転貸面積 (ストック) ② | ②/① | 耕地面積 ③ | 担 い 手 利用面積 ④ | ④/③ |
|------|----------------------------|----------------------------|---------|-----------|--------------------|-------|
| 富山市 | 1,825 | 1,825 | 100.0 % | 12,900 | 7,672 | 59.5% |
| 高岡市 | 969 | 969 | 100.0 % | 5,170 | 3,585 | 69.3% |
| 魚津市 | 551 | 550 | 99.8 % | 1,900 | 1,025 | 53.9% |
| 氷見市 | 502 | 495 | 98.6 % | 3,090 | 1,532 | 49.6% |
| 滑川市 | 147 | 147 | 100.0 % | 2,140 | 1,552 | 72.5% |
| 黒部市 | 223 | 223 | 100.0 % | 2,700 | 1,962 | 72.7% |
| 砺波市 | 1,806 | 1,806 | 100.0 % | 4,740 | 3,743 | 79.0% |
| 小矢部市 | 973 | 973 | 100.0 % | 3,550 | 2,924 | 82.4% |
| 南砺市 | 2,110 | 2,110 | 100.0 % | 7,200 | 5,873 | 81.6% |
| 射水市 | 1,660 | 1,660 | 100.0 % | 3,610 | 3,131 | 86.7% |
| 舟橋村 | 29 | 29 | 100.0 % | 173 | 125 | 72.4% |
| 上市町 | 63 | 63 | 100.0 % | 1,610 | 890 | 55.3% |
| 立山町 | 644 | 642 | 99.7 % | 3,370 | 2,135 | 63.4% |
| 入善町 | 1,984 | 1,984 | 100.0 % | 3,800 | 3,398 | 89.4% |
| 朝日町 | 722 | 722 | 100.0 % | 1,430 | 1,183 | 82.7% |
| 計 | 14,208 | 14,198 | 99.9 % | 57,400 | 40,730 | 71.0% |

5 経費等の状況（令和6年度事業分）

| 区 分 | 金 額 |
|--------------------|---------------|
| 賃料支払 | 808,006,458 円 |
| 賃料収入 | 807,916,922 円 |
| 差引賃料支払 | 89,536 円 |
| 管理・保全費支払 | 1,552,025 円 |
| 条件整備費支払 | — 円 |
| （土地改良区への支払） | （ — 円） |
| 運営費支払 | 34,344,922 円 |
| 業務委託支払 | 20,854,324 円 |
| 総合計 | 56,751,271 円 |
| 単年度借入面積 1 ha当たりの単価 | 14,923 円/ha |
| 累計借入面積 1 ha当たりの単価 | 33,455 円/ha |

| 区 分 | 金 額 |
|---------|-----|
| 条件整備費借入 | — |
| 新規借入 | — |
| 返済 | — |
| 借入残額 | — |

6 優良事例

(1) 効率的・効果的に進んでいる市町村・地域の例とその要因

市町村： 小矢部市、南砺市、射水市、入善町、朝日町

要 因： 農地中間管理事業に積極的に取り組んできた結果、機構活用率が高く、担い手集積率は80%以上を超えている。

(2) 機構等の創意工夫

- ・ 県、市町村、JA、農業委員会及び県土地改良事業連合会など関係機関を構成員とする「富山県農地中間管理事業連絡協議会」を開催し、推進体制等について情報共有、課題に対する対応を協議。
- ・ 協議会において、活動方針を策定し、これに基づき活動を展開。
- ・ 地域計画策定に係る地域の協議の場へ参加し、農地中間管理制度を周知。
- ・ 県及び機構が連携して課題のある市町について、農政担当者や農業委員会等と地域の課題や必要な対策について協議。
- ・ 市町村農業委員、農地利用最適化推進委員等を対象とした研修会において、事業活用について説明。
- ・ 機構活用のメリット等を記載したパンフレットを作成し、市・JA等の窓口への設置・配布を行い普及・啓発。
- ・ 機構関連農地基盤整備事業、機構集積協力金交付事業、遊休農地解消緊急対策事業、所有者不明農地の知事裁定による活用など、関係機関との連携による農地の集積・集約化。